



2019年10月16日

各 位

会社名 株式会社テ・ウェスタン・セラピューティクス研究所  
代表者名 代表取締役社長 日高 有一  
(コード番号:4576)  
問合せ先 取締役総務管理部長 川上 哲也  
TEL 052-218-8785

### 標的タンパク質分解誘導薬の開発に関する 共同研究契約締結のお知らせ

当社は、ユビエンス株式会社（代表取締役社長：武内博文、東京都中央区、以下、「ユビエンス」）との間で、標的タンパク質分解誘導薬<sup>(注1)</sup>の創出を目的とした共同研究契約（以下、「本共同研究」）を締結することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

標的タンパク質分解誘導薬は、疾患に関連する異常なタンパク質をユビキチン<sup>(注2)</sup>化し特異的に分解するもので、現在は、国内外でがん領域を中心に創薬研究が進められております。

本共同研究では、眼科疾患等を対象に標的タンパク質分解誘導薬の創出に向けた共同研究を実施いたします。当社の基盤技術の1つであるキナーゼ阻害剤<sup>(注3)</sup>の独自化合物ライブラリー<sup>(注4)</sup>から化合物の提供、もしくは当社で新たに化合物の創製を行い、ユビエンスの知見をもとに両社でその化合物を標的タンパク質分解誘導薬に変換し、分解特性の評価を行います。

近年の創薬トレンドは、抗体医薬や細胞医薬、再生医療など、医薬品の開発は多様化しております。当社は「パイプラインの拡充」と「事業領域の拡大」を重点施策として創薬研究を行っておりますが、自社の経営資源を活用し新たな取り組みとして本共同研究を進めてまいります。

なお、本件による2019年12月期の業績予想の変更はありません。

#### ユビエンス株式会社について

(1)名称	ユビエンス株式会社
(2)代表者	武内 博文
(3)所在地	東京都中央区日本橋堀留町1-9-10 上野ビル8F
(4)設立年月	2018年4月（※2018年12月営業開始）

(5)資本金	2百万円(2018年12月期)
(6)事業内容	医薬品の研究開発
(7)問合せ先	recep_info@ubience.com (IR担当宛)

以上

#### 用語解説

##### (注1)標的タンパク質分解誘導薬

ユビキチンリガーゼに結合する小分子と標的タンパク質に結合するリガンド(薬物)をリンカーでつないだ二機能性化合物のことです。本化合物は、疾患の原因と考えられる標的タンパク質を細胞内タンパク分解システムであるユビキチン-プロテアソーム系を利用することで分解し、治療効果を発揮することが期待されています。

##### (注2)ユビキチン

体内で様々な役割を果たしている76個のアミノ酸からなるタンパク質のことを指します。細胞内で不要になったタンパク質が分解する際に、タンパク質にユビキチンを付与(ユビキチン化)することで、分解に導く役割もあることが分かっています。

##### (注3)阻害剤

生体内の様々な酵素分子に結合して、その酵素の活性を低下若しくは消失させる物質を指します。化学物質が特定の酵素の活性を低下若しくは消失させることにより、病気の治療薬として利用されることがあります。

##### (注4)化合物ライブラリー

化合物ライブラリーとは、当社が長年にわたり蓄積してきた新薬候補化合物のタネとなる化合物群です。これらの化合物の一つ一つが特徴的な性質を有しており、基礎研究や新薬候補化合物発見に利用されます。